

講義コード	11C0123700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期																																	
科目名	ロシア経済論1／ロシア経済A					伏田 寛範		第1期																																	
履修前提条件						備考																																			
授業の目的	各国の経済のしくみは、その国々の歩んできた歴史やその時々々の政治情勢、あるいは国際関係の影響を強く受けて形成されている。ソ連崩壊後、市場経済への移行を進めたロシアでは、過去の社会主義体制の影響を受けた「ロシア型資本主義」が形成されている。この授業では、過去の社会主義体制とは何であったのかを理解するとともに、今日のロシアの経済のしくみにそれがどのような影響を及ぼしているのかを検討することを目的とする。																																								
到達目標	①旧ソ連の社会主義経済システムがどのようにして成立し、なぜ崩壊に至ったのかを理解できるようになる。 ②社会主義と資本主義の経済システムの違いについて説明できるようになる。 ③旧ソ連の社会主義経済システムが今日のロシア経済にどのような影響を及ぼしているのかを指摘できるようになる。																																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行なうこと（予習20時間以上、復習40時間以上）。 毎回の授業中に予習箇所を指示する。予習に際してはテキストの当該箇所を読み、疑問に思った箇所や理解しづからかった箇所を明確にしておくこと。また、テキストや配付資料を読み返しノートを作るなど、必ず復習をすること。																																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】</td> <td>イントロダクション</td> <td>【第9回】</td> <td>ロシアにおける市場経済移行</td> </tr> <tr> <td>【第2回】</td> <td>社会主義思想の広まりとロシア革命</td> <td>【第10回】</td> <td>1998年金融危機</td> </tr> <tr> <td>【第3回】</td> <td>ソ連型計画経済システムのしくみ</td> <td>【第11回】</td> <td>ロシア企業社会の変化</td> </tr> <tr> <td>【第4回】</td> <td>中東欧諸国における社会主義体制の確立</td> <td>【第12回】</td> <td>中国の体制転換との比較</td> </tr> <tr> <td>【第5回】</td> <td>社会主義時代の国際経済関係</td> <td>【第13回】</td> <td>中東欧諸国の体制転換との比較</td> </tr> <tr> <td>【第6回】</td> <td>ソ連経済の発展と停滞</td> <td>【第14回】</td> <td>体制転換の政治経済学</td> </tr> <tr> <td>【第7回】</td> <td>ソ連型計画経済システムの改良の試みと挫折</td> <td>【第15回】</td> <td>講義のまとめと質疑応答</td> </tr> <tr> <td>【第8回】</td> <td>小テスト</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】	イントロダクション	【第9回】	ロシアにおける市場経済移行	【第2回】	社会主義思想の広まりとロシア革命	【第10回】	1998年金融危機	【第3回】	ソ連型計画経済システムのしくみ	【第11回】	ロシア企業社会の変化	【第4回】	中東欧諸国における社会主義体制の確立	【第12回】	中国の体制転換との比較	【第5回】	社会主義時代の国際経済関係	【第13回】	中東欧諸国の体制転換との比較	【第6回】	ソ連経済の発展と停滞	【第14回】	体制転換の政治経済学	【第7回】	ソ連型計画経済システムの改良の試みと挫折	【第15回】	講義のまとめと質疑応答	【第8回】	小テスト		
【第1回】	イントロダクション	【第9回】	ロシアにおける市場経済移行																																						
【第2回】	社会主義思想の広まりとロシア革命	【第10回】	1998年金融危機																																						
【第3回】	ソ連型計画経済システムのしくみ	【第11回】	ロシア企業社会の変化																																						
【第4回】	中東欧諸国における社会主義体制の確立	【第12回】	中国の体制転換との比較																																						
【第5回】	社会主義時代の国際経済関係	【第13回】	中東欧諸国の体制転換との比較																																						
【第6回】	ソ連経済の発展と停滞	【第14回】	体制転換の政治経済学																																						
【第7回】	ソ連型計画経済システムの改良の試みと挫折	【第15回】	講義のまとめと質疑応答																																						
【第8回】	小テスト																																								
成績評価の方法	期末試験（60％）、授業内小テスト（30％）、授業への取り組み姿勢（10％）に基づいて評価する。																																								
フィードバックの内容	第8回目の小テスト（60分）の終了後、テスト内容の解説する。また、リアクションペーパーへのフィードバックを翌週の授業内で行なう。																																								
教科書	『ロシア・ユーラシア経済－研究と資料（創刊50周年記念特大号）』（ユーラシア研究所）2009年、『ロシア・ユーラシアの経済と社会』（ユーラシア研究所）2015年																																								
指定図書	『東大塾 社会人のための現代ロシア講義』塩川伸明・池田嘉郎（東京大学出版会）2016年、『ロシア革命』池田嘉郎（岩波新書）2017年、『ソ連という実験：国家が管理する民主主義は可能か』松戸清裕（筑摩選書）2017年																																								
参考書	『移行の経済学』マリー・ラヴィーニュー（日本経済評論社）2001年																																								
教員からのお知らせ	上記の授業計画にしたがって講義を進めるが、進捗状況に応じて内容を若干変更することがありうる。 毎回講義資料を配付するので復習に役立ててほしい。 講義内容に関する質問は、授業中でも積極的に行なってほしい。																																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。また、メールでも受け付ける。																																								
その他																																									